作成日　2004 年 2 月 4 日
改訂日　2025 年 5 月 30 日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称　：ベタリンーＡ
供給者の会社名称，住所及び電話番号
会社名称　：サンケイ化学株式会社
住所　：〒110-0005　東京都台東区上野 7 丁目 6-11(第一下谷ビル)
担当部門　：開発部
電話番号　：03-3845-7951
ＦＡＸ番号　：03-3845-7950
緊急連絡先　：同上
整理番号　：B - 110
推奨用途及び使用上の制限　：農薬、展着剤

2. 危険有害性の要約

化学品のＧＨＳ分類

物理化学的危険性	引火性液体	：	区分 3
健康に対する有害性	急性毒性(経口)	：	区分に該当しない
	急性毒性(経皮)	：	区分に該当しない
	急性毒性(吸入)	：	分類できない
	皮膚腐食性／刺激性	：	区分 2
	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	：	区分 2
	呼吸器感作性	：	分類できない
	皮膚感作性	：	区分に該当しない
	生殖細胞変異原性	：	分類できない
	発がん性	：	分類できでない
	生殖毒性	：	区分 1B
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	：	区分 1(中枢神経系、視覚器、全身毒性) 区分 3(麻酔作用)
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	：	区分 1(中枢神経系、視覚器) 区分 2(心血管系 肝臓)
	誤えん有害性	：	分類できない
環境に対する有害性	水生環境有害性　短期(急性)	：	区分 2
	水生環境有害性　長期(慢性)	：	区分 2

上記に記載がないものは、「区分に該当しない」か「分類できない」である。

ＧＨＳラベル要素
絵表示　：

注意喚起語　：危険
危険有害性情報　：H226　引火性液体及び蒸気
H315　皮膚刺激
H319　強い眼刺激
H360　生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
H370　中枢神経系、視覚器、全身毒性の障害
H336　眠気又はめまいのおそれ

作成日　　2004 年 2 月　4 日
改訂日　　2025 年 5 月 30 日

H372　長期にわたる、又は反復ばく露による中枢神経系、視覚器の障害
H373　長期にわたる、又は反復ばく露による心血管系 肝臓の障害のおそれ
H401　水生生物に毒性
H411　長期継続的影響によって水生生物に毒性

注意書き　：【安全対策】
P201　使用前に取扱説明書を入手すること。
P202　全ての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
P210　熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
P233　容器を密閉しておくこと。
P240　容器を接地しアースを取ること。
P241　防爆型の電気機器／換気装置／照明機器等を使用すること。
P242　火花を発生させない工具を使用すること。
P243　静電気放電に対する予防措置を講ずること。
P260　粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
P264　取扱い後は手をよく洗うこと。
P270　この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
P271　屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
P273　環境への放出を避けること。
P280　保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面等を着用すること。

：【応急措置】
P302+P352　皮膚に付着した場合：多量の水と石けんで洗うこと。
P303+P361+P353　皮膚又は髪に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。
P304+P340　吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
P305+P351+P338　眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P308+P313　ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。
P314　気分が悪い時は、医師の診察／手当てを受けること。
P321　特別な処置が必要である(4.応急措置を参照)。
P332+P313　皮膚刺激が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。
P337+P313　眼の刺激が続く場合：医師の診察／手当てを受けること。
P362+P364　汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
P370+P378　火災の場合：消火するために適切な消火剤を使用すること。
P391　漏出物を回収すること。

：【保管】
P403+P235　換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
P403+P233　換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
P405　施錠して保管すること。

：【廃棄】
P501　内容物や容器は、当該規則に従い都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託して、適切に廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別　　：混合物

化学名又は一般名	含有量
ポリオキシエチレンアルキルフェニルエーテル	20.0%
水、有機溶剤　等	80.0%

作成日　　2004 年 2 月　4 日
改訂日　　2025 年 5 月 30 日

危険有害成分

化学名又は一般名	含有量	CAS No.	化管法 管理番号	官報公示整理番号	
				化審法	安衛法
ポリ(オキシエチレン)オクチル フェニルエーテル	6.0%	9002-93-1	1 種 408	7-172	ー
ポリ(オキシエチレン)ノニル フェニルエーテル	14.0%	9016-45-9	1 種 410	7-172	ー
メタノール	20.0%	67-56-1	ー	2-201	ー

4. 応急措置

吸入した場合　：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪い時は、医師の診察／手当てを受けること。

皮膚に付着した場合　：多量の水と石けんで洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合は、医師の診察／手当てを受けること。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

眼に入った場合　：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合は、医師の診察／手当てを受けること。

飲み込んだ場合　：水でよく口の中を洗浄する。可能であれば吐き出させ、直ちに医師の手当てを受けること。
患者に意識がない場合、無理に吐かせないで直ちに医師の手当てを受けること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤　：泡、粉末、二酸化炭素

使ってはならない消火剤　：棒状注水

火災時の特有の危険有害性　：特になし

特有の消火方法　：速やかに火元への燃焼源を断ち、消火剤を用いて消火する。
容器及び周辺に散水して冷却する。
消火作業は風上から行う。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項，保護具及び緊急時措置
：漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。
漏出時の処理を行う際には保護具を着用する。

環境に対する注意事項　：漏出物を直接に河川や下水に流してはいけない。
環境への放出を避けること。

封じ込め及び浄化の方法及び機材
：乾燥土、砂や不燃材料で吸収し、密閉できる空容器に回収する。後で廃棄処理する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い　技術的対策　：「８．ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

安全取扱注意事項　：ラベルをよく読む。記載以外に使用しない。
取扱いは換気の良い場所で行い、作業場の換気は十分行う。
取扱場所の近くに、緊急時に洗眼及び身体洗浄を行うための設備を設置する。
屋外での取扱いはなるべく風上から作業する。
取扱いの都度、容器を密閉する。
眼、皮膚、衣類に付けないこと。
保護手袋及び保護眼鏡／保護面を着用すること。
高温、火気の近くで取扱ってはならない。

作成日　2004 年 2 月　4 日
改訂日　2025 年 5 月 30 日

局所排気・全体排気　：「８．ばく露防止及び保護措置」を参照
接触回避　：「10. 安定性及び反応性」を参照
衛生対策　：この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをすること。
保管　安全な保管条件　：食物、飲料等と区別し、火気、直射日光を避け、鍵のかかるなるべく低温で乾燥した場所に密栓して保管すること。
小児の手の届く所へ置かない。
安全な容器包装材料　：国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度
メタノール　：200ppm
許容濃度
日本産業衛生学会
メタノール　：200ppm・260mg/m3　(2009 年)
ＡＣＧＩＨ
メタノール　：TWA　200ppm・STEL　250ppm　(2009 年)
設備対策　：屋内で取扱う場合には、全体換気装置を設置する。
できるだけ密閉された装置、機器又は局所排気装置を使用する。
取扱場所の近くに洗眼及び身体洗浄のための設備を設ける。
保護具
呼吸用保護具　：農業用マスク
手の保護具　：保護手袋
眼、顔面の保護具　：保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具　：長ズボン・長袖の作業衣など

9. 物理的及び化学的性質

物理状態　：可乳化油状液体
色　：淡黄色澄明
臭い　：無臭
融点／凝固点　：-5℃以下
沸点又は初留点及び沸騰範囲　：情報なし
可燃性　：情報なし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界
：情報なし
引火点　：30.3℃
自然発火点　：情報なし
分解温度　：情報なし
ｐＨ　：5.0～7.0(1%水溶液)
動粘性率　：情報なし
溶解度(水)　：溶解
n-オクタノール／水分配係数(log 値)
：情報なし
蒸気圧　：情報なし
密度及び／又は相対密度　：0.97～1.00(20℃)
相対ガス密度　：情報なし
粒子特性　：情報なし

作成日　2004 年 2 月　4 日
改訂日　2025 年 5 月 30 日

10. 安定性及び反応性

反応性　：情報なし
化学的安定性　：通常の使用では安定
危険有害反応可能性　：情報なし
避けるべき条件　：情報なし
混触危険物質　：情報なし
危険有害な分解生成物　：情報なし

11. 有害性情報

急性毒性
　経口　：区分に該当しない
　ラット　EO 鎖(2～5)　1300～7400mg/kg
　　EO 鎖(20)　15900mg/kg　(参考値)
　経皮　：区分に該当しない
　ラット　EO 鎖(4～40)　1800～10000mg/kg　(参考値)
　吸入　：データが不足しているため分類できない。
皮膚腐食性／刺激性　：成分の情報より、区分 2 とした。
　(成分)
　ポリ(オキシエチレン)ノニルフェニルエーテル：区分 2
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性
　：成分の情報より、区分 2 とした。
　(成分)
　メタノール：区分 2
　ポリ(オキシエチレン)ノニルフェニルエーテル：区分 2A
呼吸器感作性又は皮膚感作性
　呼吸器感作性　：データが不足しているため分類できない。
　皮膚感作性　：区分に該当しない
　モルモット　陰性　(参考値)
生殖細胞変異原性　：データが不足しているため分類できない。
発がん性　：データが不足しているため分類できない。
生殖毒性　：成分の情報より、区分 1B とした。
　(成分)
　メタノール区分 1B
特定標的臓器毒性(単回ばく露)
　：成分の情報より、区分 1(中枢神経系、視覚器、全身毒性)、区分 3(麻酔作用)とした。
　(成分)
　メタノール：区分 1(中枢神経系、視覚器、全身毒性)
　区分 3(麻酔作用)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)
　：成分の情報より、区分 1(中枢神経系、視覚器)、区分 2(心血管系 肝臓)とした。
　(成分)
　メタノール：区分 1(中枢神経系、視覚器)
　ポリ(オキシエチレン)ノニルフェニルエーテル：区分 2(心血管系 肝臓)
誤えん有害性　：データが不足しているため分類できない。

12. 環境影響情報

水生環境有害性 短期(急性)　：区分 2
水生環境有害性 長期(慢性)　：区分 2

作成日　2004 年 2 月　4 日
改訂日　2025 年 5 月 30 日

生態毒性

魚(コイ)	: LC50(96hr)	7.5ppm
甲殻類(オオミジンコ)	: EC50(48hr)	35ppm
藻類	: EbC50(72hr)	51ppm

残留性・分解性　: 情報なし
生態蓄積性　: 情報なし
土壌中の移動性　: 情報なし
オゾン層への有害性　: 情報なし

13. 廃棄上の注意

化学品(残余廃棄物)、当該化学品が付着している汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

残余廃棄物　: 関連法規並びに地方自治体の規則に従い、廃棄物処理業者に処理を委託する等により適切に廃棄すること。
汚染容器及び包装　: 関連法規並びに地方自治体の規則に従って適切に処理を行うこと。

14. 輸送上の注意

国際規制	国連番号	: 1993
	品名	: その他の引火性液体
	国連分類	: クラス 3(引火性液体)
国内規制	陸上輸送	: 道路法等の規定に従う。
	海上輸送	: 船舶安全法の規定に従う。
	航空輸送	: 航空法の規定に従う。

特別の安全対策　: 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないよう積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
車両、船舶には保護具(手袋、メガネ、マスク等)を常備する他、緊急時の処理に必要な消化器、工具等を備えておく。

15. 適用法令

化学物質排出把握管理促進法

第一種指定化学物質　ポリ(オキシエチレン)＝アルキルフェニルエーテル(アルキル基の炭素数が８のものに限る。)(管理番号：408)
ポリ(オキシエチレン)＝アルキルフェニルエーテル(アルキル基の炭素数が９のものに限る。)(管理番号：410)

労働安全衛生法

名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第 57 条)　: メタノール
ポリ(オキシエチレン)＝ノニルフェニルエーテル(令和 8 年 4 月 1 日以降対象物質)
ポリ(オキシエチレン)＝パラー(１，１，３，３ーテトラメチルブチル)フェニルエーテル(令和 8 年 4 月 1 日以降対象物質)

名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第 57 条の 2)　: メタノール
ポリ(オキシエチレン)＝ノニルフェニルエーテル(令和 8 年 4 月 1 日以降対象物質)
ポリ(オキシエチレン)＝パラー(１，１，３，３ーテトラメチルブチル)フェニルエーテル(令和 8 年 4 月 1 日以降対象物質)

作成日　　2004 年 2 月　4 日
改訂日　　2025 年 5 月 30 日

危険物(令別表第 1)　　：メタノール
皮膚等障害化学物質等(則第 594 条の 2)
　　：メタノール
有機溶剤等(有機則)　　：メタノール
毒劇物取締法　　：該当しない
消防法　　：第 4 類　第 2 石油類、水溶性液体
船舶安全法　　：危規則第 2,3 条危険物告示別表第 1 引火性液体類
航空法　　：施行規則第 194 条危険物告示別表第 1 引火性液体類
農薬取締法　　：登録番号　第 13800 号

16. その他の情報

参考文献

- JIS Z 7252：2019　GHS に基づく化学物質等の分類方法
- JIS Z 7253：2019　GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法 ― ラベル、作業場内の表示及び安全データシート (SDS)
- 独立行政法人 製品評価技術基盤機構(NITE-CHRIP)
- 原料 SDS

この安全データシートは現時点で入手可能な資料等をもとに作成しておりますが、物理化学的性質、危険有害性等に関しては、いかなる保証も成すものではありません。また注意事項は、通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いを行なう場合には自らの責任において用途に適した処置を講ずることが必要であることを理解した上で活用して下さい。